



## OECD Education 2030 プロジェクト 「プロジェクト∞無限大」

## ウェルビーイング 「Well-being(幸福)あふれる学校へ」

11月30日（木）の午後6時、有志のメンバーによる「プロジェクト∞無限大」の会議が本校の進路室で行われました。このプロジェクトは、日本 OECD（経済協力開発機構）共同研究（事務局：東京学芸大学）の取組として、社会に存在する様々な「壁」（立場や年齢、性別、国籍、組織、制度、文化等）を超えて、世界の学校とつながることで、「Well-being<sup>ウェルビーイング</sup>あふれる学校」をテーマとした、国際共創を行う研究の一環としてスタートしたものです。この日は、zoom ミーティングを用いて、海外（英国とポルトガル）や本州の高校生と英語のみで、自校の情報や意見を交換するという企画でした。事前に、



交流で使用したリアルタイムで共有できるスライド  
本校では、教科の授業の中でも使用している。

総合的な探究の取組の中で、英語での自己紹介文や学校を紹介するスライドを作成しました。また、PC 画面上でも円滑なコミュニケーションを取れるように、発表を繰り返し練習しました。その結果、笑顔溢れる交流の機会となり、生徒達は、充実した表情を見せてくれていました。本校の生徒達にとっては、視野を広げる刺激を受け、良い経験になりました。

今年度の富川高校では、総合的な探究の時間において、地域の生活や産業を活性化するための探究の他に、日高山脈襟裳国定公園の国立公園化に向けての提言の作成なども行われています。日高町の地域経済課の職員の方々と連携し、地域の実情に応じた分析を行っています。

これらの探究を通して、生徒たちは、今までに気づけなかった地域の状況や、初めて知る海外の様子など、学校の中だけでは体験することのできない様々な見識を身につけています。その取組が生徒たち自身の成長と同時に、富川高校の活性化につながっていることは言うまでもありません。



## 日常授業の中で（体育の授業）

## 『強くしなやかな心を持った人に』

今年度の3年生は、進路に向けて熱心に取り組んだ結果、着実に各々が進路実現へ向けて歩みを進めています。「第25回日本水大賞・2023日本ストックホルム青少年水大賞」での厚生労働大臣賞の受賞を皮切りに、様々な活動で大きな成果を上げてきました。これらは生徒と3学年を中心とした全教職員とのチームワークの良さの表れであると言えます。

そんな3年生たちは、普段の授業においても笑顔が絶えることはなく、互いを勇気づけ合っている姿を日々目の当たりにしています。体育の授業風景を写真で紹介します。その姿が少しでも多くの人を勇気づけることを心から願っています。



## 吹奏楽部定期演奏会

### 『袖げ 富高の1ページ』

12月17日（日）、門別総合市民センターにおいて、今年の集大成となる第20回定期演奏会を開催しました。

当日は暴風の中、沢山のお客様にご来場いただきました。富高吹奏楽部の「今」感じていただける時間になりました。

関係する皆様へご理解とご協力をいただいたこと、ならびに応援いただいたことに感謝申し上げます。



## 生徒会誌「沙流」の編集風景

### 『つながる ころの絆』 絆づくりメッセージ団体部門 奨励賞（2023年）

富川高校では、毎年生徒会役員が中心となり、生徒会誌「沙流」を発行しています。生徒達のクラス紹介から始まり、教職員によるメッセージや、生徒会が独自で考案したユニークな企画が誌面を賑わせています。12月に入ってから、新生徒会役員5名が、協力して編集作業を行っています。富川高校生徒会誌

「沙流」の発行に向けた取組を通して、富川高校はますます活気のある学校になっていくことでしょう。

